



都の西北

2019 年(平成 31 年)4 月 1 日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第 8 号



みんなで歌えばもっと joyful

早稲田カラオケ倶楽部 楽しくするアドバイス



佐藤 清さん
踊り子

伴奏に遅れないこと

カラオケは、ほとんどの人が歌詞を目で追いながら歌っていますので、どうしても歌が伴奏に少し遅れてしまいます。本人はそれほど気が付かないし気にしないようですが、聴く人にとっては煩わしさが残ることになります。歌詞を暗記することによって音楽に乗り、気持ちよく聴こえるようになります。また歌詞に伴奏が付いてくるような感じになる、とも言われています。



福田たけしさん
夕焼け雲



井ノ口栄司さん
哀愁の木曾路

音符を見ながら練習

シングルCDやカセットテープには、音符を載せた紙が入っているはずですが、一応、音符通りのカラオケ伴奏のはずですから、これをチェックしながら歌うとまた一味違った歌になるかも知れません。プロの歌手がカバー曲を歌うときは、よく音符をチェックしているようです。



山中 皓博さん
酒よ



岡 三徳さん
天竜流し

歌詞の意味や情景を思い浮かべながら歌うこと

これは非常に重要なことで、よく言われていることです。カラオケは歌詞を目で追うだけだとどうしても言葉の発声だけになるので、思いを伝える上手な歌にはなりません。自分で考えなくても大丈夫、目の前に映像があります。ボーとして映像を見るのではなく、思いを寄せると素晴らしい歌になります。以上は音楽素人である筆者の私見ですが、ちょっとした工夫によりカラオケ音楽はより楽しくなりますので、是非チャレンジしてください。そして、一日一回一曲口ずさんでください。これにより声が出るようになるでしょう。当会はカラオケ店のなるべく広い部屋を3時間取っていますので、ゆったりと歌い楽しむことができます。最初に母校の応援歌、最後に校歌を歌うほかは、演歌、民謡、ジャズ、外国語の歌など全く自由です。



岩田三四郎さん
おんなの宿



小宮山正前さん
HOWEVER

例会の案内は 8 ページにあります。皆さんの気軽な参加をお待ちしています。(カラオケ倶楽部幹事：岩田)



清水 武さん
Besame mucho

写真は 2 月の例会で。顔写真の下はそれぞれの持ち歌「十八番(おはこ)」にしている曲名

会員募集：昭島稲門会にはカラオケ倶楽部の他、ハイキングの会、シネマの会、ゴルフコンペなどもあり楽しく活動しています。近隣あるいはお知り合いの校友を幹事長までご紹介ください。

昭島の野球少年から早稲田のロースクール教授へ

早稲田大学 大学院法務研究科 教授 秋山靖浩先生

早稲田大学の教壇に立つ教授（専任）は、学部・大学院合わせて約1,000名。この中には昭島市と深い関わりを持つ先生方もいらっしゃいます。今回は、大学院法務研究科（ロースクール）教授を務める拝島町出身の秋山靖浩先生にインタビューしました。

野球・山登り…普通の少年

—— 拝島町ご出身の秋山先生は、多摩辺中卒業までどんなお子さんでしたか？

秋山 父が野球をやっていたこともあり、その影響を受けて、中学生までは野球少年でした。上手ではありませんでしたが…。また登山が趣味のおじと一緒に、山登りにも行きました。どこにでもいる普通の子供でした。

—— 中学卒業後、早稲田大学高等学院に進学しました。どんな高校生でしたか？

秋山 都立高校への進学を考えていましたが、運良く高等学院に合格することができました。高校生では「徒歩クラブ」に入部し、奥多摩や丹沢、北アルプスなどの縦走によく出掛けました。学院の授業は大学っぽくて興味深かったこともあって、勉強にも力を入れて取り組みました。

—— 学院から法学部に進学しましたが、法学部を選んだ理由は？

秋山 読書を通して環境問題に興味を持ち、それを学べる学部を選ぼうと思いました。けれども理系科目はあまり得意ではなかったため、理工学部ではなく法制度の面から学べる法学部を志望しました。

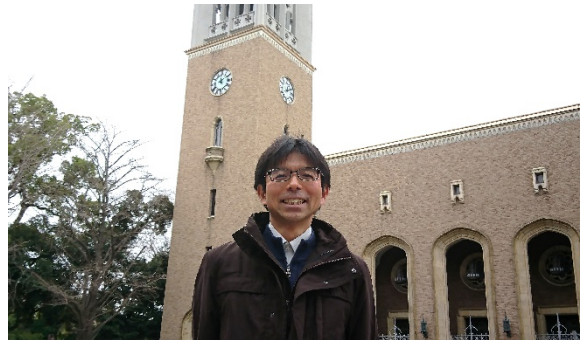
大学生時代に決めた研究者への道

—— 法学部時代はどのような学生でしたか？

秋山 サークルは大学公認の「緑法会」に加入し、主に試験対策や仲間たちと交流するために参加していました。ゼミでは租税法を学び、例えば都市部における農地と税金との関係を調べるために、拝島町の農地を取材してレポートにまとめたりしました。このときに街づくりに興味を持つようになりました。

—— 学部卒業後に大学院へ進学し、その後は大学に残りました。教職を選んだのは、どうしてですか？

秋山 国家公務員試験の受験準備や一般企業への就職活動をした時期もありました。しかし「あるテーマについて調べ、文章にまとめる仕事がしたい」という希望を叶えるには、研究者が最適だと考え、大学院へ進学することにしました。修士～博士後期課程で民法法を学んだのち、法学部の助手を経て2000年に専任講師に採用されました。



—— 現在の専門分野、大学での立場は？

秋山 土地・住宅・不動産問題などを民法の観点から研究しています。法学部の専任講師を2003年まで務めたあとに助教授となり、ドイツ・ミュンスタ大学法学部の客員研究員として2005年まで現地に赴任しました。2005年に帰国して大学院法務研究科（ロースクール）の助教授・准教授となり、2009年から現職（教授）です。この間、学生担当の教務主任や法務教育研究センター副所長なども経験しました。また稲門法曹会の事務局長も務めています。現在は法学部とロースクールで教えていますが、学生たちと接する機会も多く、学生には「楽しく勉強するとよいよ」とアドバイスしています。

—— 今後はどのようなテーマの研究に取り組むお考えですか？

秋山 私の専門分野で今、最も重要なテーマだと感じるのが、空き家や所有者不明土地の問題です。放置された空き家、相続したものの登記されずに所有者が不明になった土地が急増し、大きな社会問題になっています。この問題を解決するために民法改正の動きがありますが、こうした法整備について研究に取り組んでいるところです。

趣味は街歩き、健康を保つために筋トレも

—— 仕事以外の趣味・興味は？

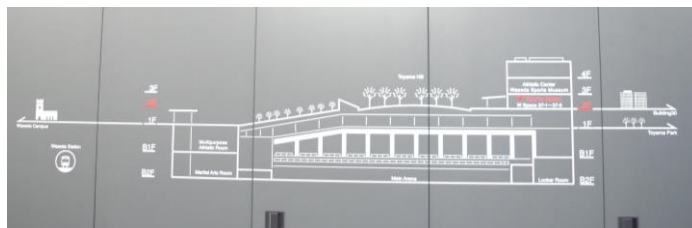
秋山 不動産の問題を仕事にしていることもあって、趣味は街並みの様子を観察しながら散歩する「街歩き」で、妻とも一緒によく出掛けます。最近では、健康を保つために筋トレもしています。

—— 最後に昭島在住・在勤の校友にメッセージを。

秋山 卒業後、母校を訪れる機会のない方も大勢いらっしゃると思います。近年は大学の施設や建物、大学周辺の街並みも大きく変わりました。ぜひ今の大学に遊びにいらしてください。（取材：富樫）

＜早稲田アリーナ完成見学会＞

3月9日に早稲田アリーナの完成見学会に行きました。記念会堂の跡地に、3年弱の工期と150億円の総工費で完成した施設です。20億円の募金も寄与しています。チョット分かりにくいと思いますが、右の写真の太い白線部分が体育館です。地下1・2階になります。



記念会堂のイメージでそびえ立つ建物を想像して行くと、エッどこにあるの？といった感じです。

天井上の部分は芝生の小山や植栽で戸山の丘と呼ばれ、早稲田アリーナとともに、学生、教職員、OBより募集した名称の中から選ばれたとのこと。訪れてまず目に入る戸山の丘では、沈丁花の甘い香りがどこからともなく漂っていました。今はまだ若い木々も歳月を重ねるにつれ大木となり、緑豊かな憩いの場所、新名所になることでしょう。

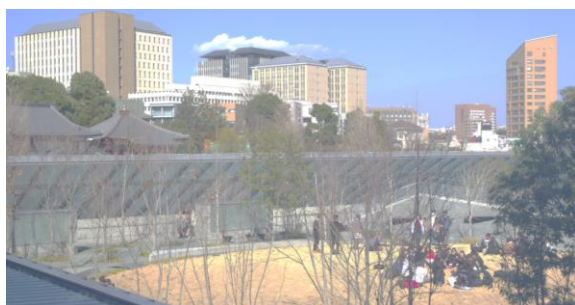


この下に“早稲田アリーナ”が潜んでいました。

メインアリーナの第一印象は、「とにかく広～い」の一言です。スパンは63m×44m、天井までの高さは10～12m。卒業式・入学式などの式典時には、約6,000名を収容できるとのこと。地下1階部分の観客席には見学者の姿もチラホラ見受けられました。



体育館に定番の天井の照明器具は、ここでは上の写真のように見当たらず、スッキリと自然光が差し込んでいるような、落ち着いた明るさが感じられます。他には地下1階にトレーニングスペース・多目的運動場、地下2階に拳法場2面・部室、地上2階に学生の学習や交流の場のラーニングcommons、3階に早稲田スポーツミュージアムが設けられています。下の写真はアリーナ3階からの早稲田キャンパスの遠望です。



右端の茶色のビルが大隈タワー。目をこらせば、その左側にかすかに大隈講堂の時計台が見えます。

これから数十年、多くの若者がここで夢と友情を育み、青春の思い出を刻んでいくことでしょう。蛇足ですが、陸上競技用の“砂場”はありませんでしたが“スタバ”はありました。



アリーナの前身とも言える、今は無き創立75周年記念の記念会堂。

この会堂への会員の思い出の一部を紹介します。「理工のバスケット部にいましたので、記念会堂はホームコートでした」（S43 理工卒 山中さん）「記念会堂の前の広場で、体育の授業でサッカーを取っていました。広場はまだ土と砂だった」

（S41 商卒 清水さん）「文学部へ上がるスロープから毎日のようにあの蒲鉾形の建物を眺めていました。記念会堂も新しく生まれ変わり、今は昔の感一入です」

（S47 文卒 佐藤さん）「両親も同行した私の入学式と夫婦で参列した娘の入学式」（S43 理工卒 梅田さん）などなど。時の流れを感じますね。

思い出を寄せてくださったのに、ここに紹介出来なかった方々、ゴメンナサイ。（平田記）

サークル活動便り

秋のゴルフコンペ



10月9日大月の花咲CCで、暑くも寒くも無い絶好のコンディションのなか開催。男性8人、女性2人、3組と

人数的にはやや淋しい感じでしたが、新ペリア競技方式ですから、誰にでも優勝のチャンスがあり、熱戦が繰り広げられました。結果は内藤さんが見事春秋連覇を達成。内藤さんのパッティングは特に素晴らしく、独特の力学理論で次々と難パットをねじ込んでいきます。私もその理論を少々勉強させていただきましたが、腕の方がついていかず上手くいきません。ベスグロは佐藤さんが42、42の84でぶっちぎり。残念ながらベスグロの商品はありません。昭島に戻ってからいつもの翠鳳楼で賑やかに楽しく反省会を行いお開きとなりました。（山中記）



for birdie or par?

多摩森林科学園、武蔵陵墓地ハイキング



秋晴れの10月26日、会員9名は高尾駅まで行き、徒歩10分程で多摩森林科学園に到着しました。10時からの

ガイドツアー（約1時間半無料で森の科学館の展示品の説明と樹木園を散策しながらの樹木の特徴や生態の説明を行う）に参加しました。8ヘクタールの広さを持つ桜保存林には日本全国の主要な桜がほとんど全て植えられており、桜の季節には一方通行にするほど混雑します。森林科学園から徒歩20分ほどで武蔵陵墓地に到着しました。荘厳な雰囲気を感じられる鬱蒼とした北山杉の間の玉砂利道を進んで、大正天皇多摩御陵、貞明皇后多摩東陵、昭和天皇武蔵野御陵、香

淳皇后武蔵野東御陵の順で参拝しました。武蔵野御陵から少し紅葉の始まったケヤキ並木の道路を10分程歩いて、午後1時頃トロロそばで有名な“むさしの庵”に到着し、昼食・懇親を行いました。（梅田記）

シネマの会

第16回 “マンマ・ミーア！ヒア ウィ ゴー”

本作は前作の続編であり、過去と現在の物語を交錯させながらのストーリー展開となっているが、ベースは表題となった「マンマ・ミーア」の他「ダンシングクイーン」や「スパートルーパ」など1970年代に全世界でヒットを連発させたスウェーデン出身の4人グループ「アバ」の楽曲を中心としたミュージカル。

楽曲の持つメロディやテンポの良さ、演者の歌唱力、映画ならではのサウンド効果、さらにはなつかしさも相まって、理屈なしに楽しめる映画である。（小宮山記）

第17回 “かぞくいろーRAILWAYSわたしたちの出発ー”

久しぶりに涙腺が緩みっぱなし。妻を亡くした男と結婚した女性が男の突然の死後、小学生の義理の息子を連れて、定年目前の“肥薩オレンジ鉄道”の運転士の義父と生活を始める。息子の夢のために運転士を目指すヒロイン。血縁でつながらない家族の愛のお話。鹿兒島弁が、地方色や心理描写に技あり！（平田記）

第18回 “ファースト・マン”

人類初の月面着陸に成功したアポロ11号の船長ニール・アームストロングの宇宙飛行士への応募から月面着陸成功までを描いています。宇宙飛行士と



としての苛酷な訓練や宇宙空間での実験中のトラブルのリアルかつスリル満点の映像の一方、幼い娘を病気で失ったり、同僚の尊い犠牲など喪失と悲しみを背負いながら夫婦愛で乗り越えてゆく人間ドラマも並行して描いています。巧みな撮影方法及び劇場の大画面と音響効果により、あたかも宇宙船に観客が一緒に搭乗しているように錯覚させます。主人公が荒涼とした月面に降り立って歩を進め、亡くなった幼い娘の形見である小さなプレスレットをクレーターにスルッと落とす場面は切なく印象的でした。彼が命を懸けて月面着陸に挑戦した動機は最愛のものを失った喪失感であったのかもしれない。（梅田記）

ちょっと訪問…会員ルポ

家に引っ込まないで外に出て――

菅野 啓明さん [昭和 37 年 政経卒]



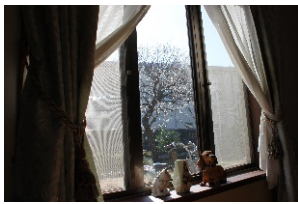
お名前が「啓明」。読み方は「ひろあき」。お邪魔した家は啓明（けいめい）学園の校門からすぐ近くだった。まずその辺の事情から・・・

「啓明学園」は昭島の名門校です。その学校名と同じお名前ですがどんな背景が？

父は母校の武蔵野市にある成蹊学園で、浅野孝之校長の下で本邦初めての帰国子女教育学級で教鞭を執っていました。父の求めに応じ漢籍に詳しい浅野先生に啓明（ひろあき）と名付けていただいた。その後、昭島に学園が創立され創立者の三井高維氏が浅野氏に学園の命名をお願いしたところ「啓明」と提案され決定した。つまり名付け親が同じだということですね。

昭島にはいつから住んでいらっしゃるのですか？

太平洋戦争が終わった翌年、疎開先から父の職場である啓明学園（校長）の教職員住宅に移り住んだ。でも大



部屋の外には梅の花が

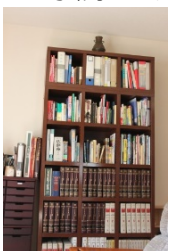
学への通学や就職後の職場の関係で、関西と海外駐在で昭島市を 20 年は離れていました。再び住むようになったのは 65 歳からです。

早稲田時代の思い出は？

良き師、良き友に巡り会えたことに尽きますね。勉強では石橋湛山の主宰する東洋経済新報を調べ、満州と満鉄に関する記事を拾い上げ整理することにした。明治以来、誰も読んだことのないと思われる雑誌の綴りを大学図書館から借りてめくった時、埃がもうもうと立ち昇り「これが学問をするということなんだ」と見つめていたことを思い出します。

卒業後の針路は？

早大の満鉄史研究グループに在籍しながら法政大学の大学院に入った。ここには戦前、満鉄調査部に籍を



専門書と本棚

置いていた教授もいて、日中関係史の勉強に役に立ちました。その頃、早大の図書館で JAPAN TIMES を読んでいたところ、求人欄に、神戸製鋼が機械部門の海外事業を拡大するので経験者を募集しているのが目にとまっ

た。私は学者になるのを諦め受験、中途入社で採用されたのです。

海外での仕事も多かったと聞いていますが？

神鋼では最初から機械の輸出部門に配属され、主として化学工業機械の輸出を担当しました。特に中国では、ニクソン米大統領や田中角栄首相が訪中して国交が回復した 1972 年は受注活動、製作仕様打ち合わせ等のため、ほとんど中山服（人民服）に囲まれて北京、上海で生活していました。

80 年代前半の 3 年間はシンガポールの子会社に出向、東南アジア諸国への輸出とアフターサービスを取りまとめる業務に従事しました。

退職されてからの人生は？

神鋼及び関連会社の勤務を 60 歳で終えた後、労働省の傘下にある海外職業訓練協会の大阪相談所で 5 年間勤めました。パソコンでの仕事の比重が大きかったので、この歳にしてパソコンを扱えるのはラッキーだと思っています。

菅野さんにはつい最近まで稲門会のハイキングサークルの幹事をしていただいていた。

高校時代は山岳部にいて、近隣の山々をほとんど登り、社会人になってからは地図を片手に歩き回るのが趣味となっていました。地図を見ながらどこへ行こうかという計画づくり、下見で見どころ発見など、趣味の延長上の活動そのものが楽しかった。でも、80 歳近くになり、足腰が弱まり、特に坂道の多い山歩きは辛くなってきて、後任の方に代わっていただいたところ

です。
早い時期に奥様を亡くされたと聞いています。ダンディな髭でお元気そうですが、健康管理はどうされていますか？

糖質を制限した食事を心がけています。家に引っ込んでいないで、できるだけ外に出て行くようにすることですね。脳みそと身体が働くうちに身辺整理を実現したいと思っています。（取材：清水）

第 34 回昭島稲門会定期総会が開催

11 月 17 日、昭島市民交流センターにおいて「第 34 回昭島稲門会定期総会」が大学や近隣稲門会からの来賓を多数お迎えして開催されました。

第 1 部は山中幹事長の司会のもと、会長挨拶に続いて議事に入り、平成 29 年度の活動報告と決算が承認さ



れ、併せて平成 30 年度の活動計画案と予算案が全会一致で了承されました。平成 30 年度の活動としては、

例年の同好会活動の活性化や会の基盤強化、広報活動の充実などに加えて、新たに三多摩支部大会の開催準備に取り組むこととなりました。

議事終了後に来賓の早稲田大学地域コーディネーター（理工センター事務部総務課長）尾崎慶吾様からご挨拶を兼ねて、大学総長が鎌田薫総長から田中愛治総長に交代したこと、大学歴史館が開館したこと、また学生への支援を充実強化していることなど、最近の大学の主な動きについて紹介がありました。

第 2 部の講演は、会員の水上宏氏から長年の中国滞在を踏まえて「中国よもやま話」と題するうんちく溢れ



るお話をいただきました。水上氏の「胡散臭い話」としゃれた中国のトイレ事情に関するお話が意外に奥深いことに皆さん感心しきりでした。



第 3 部の懇親会では小宮山副幹事長の司会のもと、来賓 11 名を含めて 30 名を超える賑やかな会となりました。来賓一人ひとりから挨拶をいただいた後、新入会員として参加された紅一点の小柴登志江さんから自己紹介がなされました。最後は参加者全員による恒例の校歌斉唱で締めとなりました。

昭島で稲酔会を開催

11 月 24 日、「青梅線・西武線・五日市線沿線合同稲酔会」が今年は昭島の担当で市内の翠鳳楼で開催されました。昭島からも 9 名が参加し、あきる野 2 名、羽村 4 名、青梅 4 名、福生 3 名、立川 13 名の皆さんとともに総勢 35 名で約 3 時間、翠鳳楼のおいしい中



華料理に舌鼓を打ちながら、ビールに紹興酒、日本酒に焼酎とひたすら飲み喋り、懇親を深めました。

参加者全員の自己紹介からは校友それぞれの社会での幅広い活躍の一端や、また趣味の広さなど充実した人生を送られていることが伺われました。

どれだけのアルコールが参加者の胃袋に収まったかは定かではありませんが、さすが稲酔会に参加される皆さんはお元気そのものでした。

白熱のラグビー早明戦

12 月 2 日、秩父宮ラグビー場で行われた関東大学ラグビー対抗戦グループの早明戦を稲門会メンバー 6 人で観戦しました。勝てば 8 年ぶりの優勝がかかった伝統の一戦。今回は肉体のぶつかり合う音や選手の息遣いまでが聞こえてくる、東スタンドの前から 2 列目という素晴らしい席でした。目の前で繰り広げら



れるスクラムやタックルの迫力、スピード感にラグビーの魅力が改めて感じることができました。試合は途中最大 18 点差まで開き楽勝かと思われましたが、終盤に明治の猛追を受ける展開となりました。最

後は僅か 4 点差という僅差での勝利となりましたが、既に 8 連覇を決めていた帝京と 6 勝 1 敗で並び、23 度目の優勝を飾りました。

帰りはいつもの翠鳳楼で祝勝会となりましたが、名門早稲田の復活を感じさせる勝利に話が弾み、ビールと紹興酒が大いに進みました。



その後、全国大学選手権へと駒を進めた早稲田は準決勝で再び明治と相まみえましたが、この試合では惜しくも明治に雪辱を許してしまいました。残念ながら今年も大学選手権優勝時にのみ歌われる「荒ぶる」を聞くことはできませんでした。しかし今年の戦いぶりは大学選手権の優勝が遠くないことを十分予感させるものでした。ぜひ来年に期待しましょう。

新春顔合わせが賑やかに

2 月 9 日、翠鳳楼で恒例の「新春顔合わせ」が 18 名の参加のもと盛大に開催されました。

今年は梅田会長悲願の女性会員と 20 代の若い男性会員の参加がありました。女性は平成 22 年卒の原嶋恵さん、男性は平成 26 年卒の三浦圭亮さんで、お二人のプロフィールは会報第 7 号新入会員の紹介に詳しく載っています。原嶋さんをご家庭の事情で暫く昭島を離れるそうですが、お二人からはこれからも会の様々な活動にできる限り参加したいとの頼もしい抱負が述べられました。



恒例の参加者全員からの新年の抱負や近況報告では、参加者それぞれの話に多くの質問や冷やかしが飛び



交い、いつにも増して賑やかに盛り上がった新春の会となりました。

最後は最近とみに堂に行った山中幹事長の指揮による校歌斉唱でお開き。

早大野球部主将に加藤雅樹君が就任

昨年 11 月、早大野球部主将に昭島市出身の加藤雅樹君が選ばれ就任しました。加藤君に

ついては会報第 5 号に梅田会長のインタビュー記事が掲載されていますが、つつじが丘北小学校から瑞雲中学校を経て早稲田実業高校に進み、現在は社会科学部に籍を置く 4 年生です。

早実時代も主将を務め、日本ハムの清宮幸太郎選手とは KK コンビと

呼ばれました。強肩強打を誇るキャッチャーとして鳴らしましたが、大学では外野手に転向。3 年時に侍ジャパン大学代表に選ばれるなど早稲田の中軸バッタ



ーとして現在活躍中です。身長 185 センチ、甘いマスクで女性ファンも多いそうです。

清宮選手に触発されプロを志望しているとのことですが、今年のドラフトでは注目選手の一人になると目されています。将来を嘱望される有望株、加藤君のこれからが

とても楽しみです。



東京三多摩支部大会のお知らせ

今年の「早稲田大学校友会東京三多摩支部大会」は青梅稲門会、羽村稲門会、昭島稲門会が主管し、11 月 10 日(日)に青梅市の青梅福祉会館で開催されます。議事の後には青梅稲門会大倉会長のお嬢さんで国際的ジャズバイオリニストとして活躍中の大倉めぐみさんの演奏会も予定されています。

お知らせ・予告

☆稲門祭へのご協力を!

稲門祭は校友会最大のイベントですが、今年は10月20日(日)、瀬古利彦氏を実行委員長に迎え「走れ!! 早稲田」をメインテーマとして開催されます。会員の皆様には例年、稲門祭記念品の購入を通して「校友会奨学金」の給付にご協力をいただいております。なお、今年も記念品ご購入2千円を一口として福引抽選が行われます。豪華賞品が予定されています。航空券・テレビ・タイヤなど我が稲門会でも意外と多くの方が当たっています。購入の協力依頼があった節にはぜひお力添えを!



☆ハイキングの会

4月7日(日)に“滝山城址&滝山公園ハイキングコース”を歩きます。毎年春と秋に近場であり体に負担がかからない場所を選んでいきます。

(梅田: Tel080-8157-0492)

☆ゴルフコンペ

5月21日(火)に大月の「花咲カントリークラブ」でコンペを開催。車は乗り合わせです。ご夫婦での参加も大歓迎。10月にも開催します。

(山中: Tel090-9953-7404)

☆シネマの会

モリタウンのMOVIX 昭島でいろいろなジャンルの映画を楽しむ会。

2ヶ月に一回程度、大抵日曜日の午後開催。映画の後、お茶などを飲みながら感想会も。

(平田: Tel080-2568-6284)

☆早稲田カラオケ倶楽部

毎月最終日曜日の午前10時から12時まで、昭島駅北口のカラオケボックス「まねきねこ」の2階の一部屋に歌好きなメンバーが自由に集まって歌っています。



編集後記

編集委員 5 名が毎号それぞれページを分担し、工夫を凝らしながら(?)発行しています。編集作業はパソコンでの作業が中心となります。

そのスキルは富樫さんを除いて皆初心者にも毛が生えた程度。図形の貼り付けや全体のレイアウトなど毎号苦戦の連続です。でも、回を重ねる毎に便利な機能やワザを覚えられるのも楽しみの一つ。これからもどうぞご期待を!(佐藤清)



△漫画の作者は早大漫研 OB

発行: 早稲田大学校友会

東京三多摩支部昭島稲門会

会長: 梅田 正宏 ☎541-6008

〒196-0031 福島町2-17-1

umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp

幹事長: 山中 皓博 ☎544-1933

〒196-0024 宮沢町2-14-39

yamanaka-akihiro@nifty.com